

施工店様へのお願い ●施工前に必ずこの説明書をお読みください。また、お客様に必ず「取扱説明書」をお渡しください。

安全上のご注意

警告

- 電源線は電源用端子に確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因になります。
- 付属の取付ねじで壁面にしっかり取り付けてください。
壁面からの脱落により、けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所や発熱する器具の近くなど、温度の高くなる場所には設置しないでください。
熱がこもり、火災や焼損、故障の原因になります。
- 調理台のそばなど油飛びや湿気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
火災や感電の原因になります。
- 水のかかる場所（屋外・浴室など）や湿気の多い場所には設置しないでください。
感電や故障の原因になります。

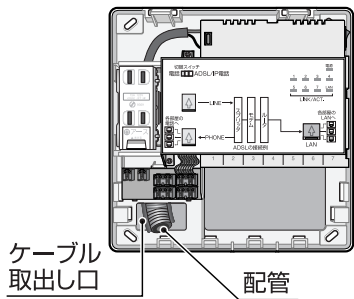
施工上のご注意

1. テレビ、ラジオなどの家電製品が置かれる場所には設置しないでください。
受信障害や通信障害の原因となります。
2. 電源線とその他の配線が接触しないように施工してください。
3. メガ測定をするときは、スイッチングHUB電源スイッチを「切」にしてください。
4. 汚れは柔らかい乾いた布で拭き取ってください。ベンジンやアルコールなどで拭かないでください。変色や変形の原因となります。
5. 本製品を天井面には取り付けしないでください。天井面からの脱落により、けがや故障の原因になります。
6. 本製品を上下逆や傾けて取り付けしないでください。
壁面からの脱落により、けがや故障の原因になります。

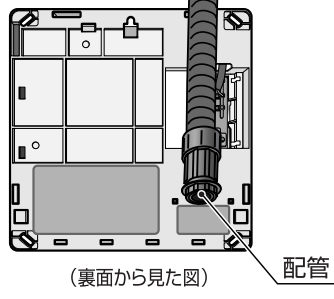
FTTH（光ファイバ）/CATVの配管について

1. ケーブル取出口裏上部に管の先端がくるように配管してください。また、配管にはケーブル引き込み用の呼び線を通しておいてください。

（管端を取出口からのぞかせる場合）



取出口裏上部に管端がくる場合



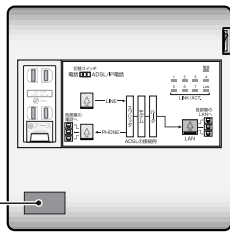
※まとめてねット取付台（品番：DSWTJ8970）（別売）を使用すると管端が固定できます。
詳しくは、まとめてねット取付台の施工説明書をご覧ください。

2. 配管後、付属の「本体カバー貼り付け用シール」をカバー前面左下に貼り付けてください。

本体カバー貼り付け用シール

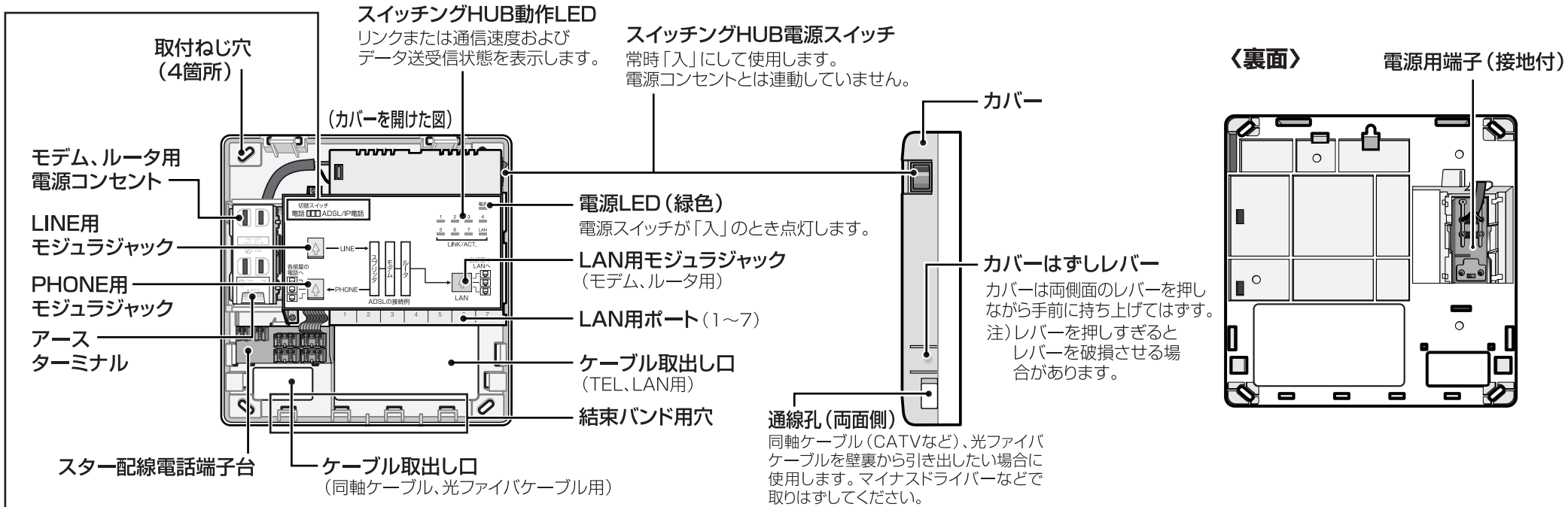
光・同軸ケーブルは本体内部のケーブル取出口から側面の通線孔を通して引出してください

シール貼り付け位置

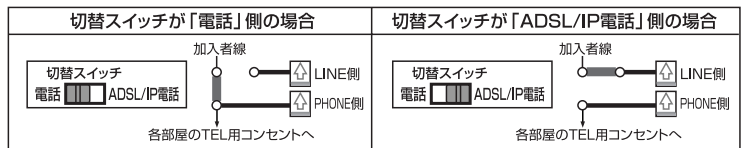


- 部屋のコンセントにモデム、ルータなどを接続される場合には、LAN+TEL+TELコンセントの近くに配管してください。

各部のなまえとはたらき

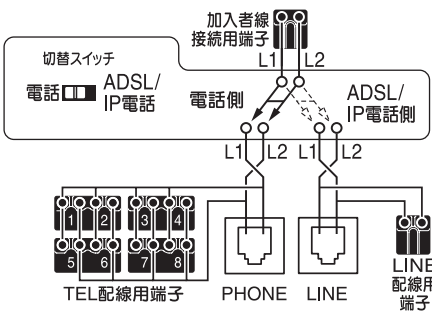


切替スイッチ



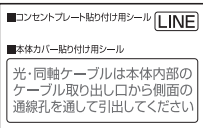
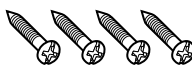
- 「電話」側の場合
加入者線はTEL配線用端子1～8とPHONE用モジュラジャックに接続されます。
- 「ADSL/IP電話」側の場合
加入者線はLINE用モジュラジャックとLINE配線用端子に接続され、TEL配線用端子1～8と加入者線とは切り離されます。

電話端子／切替スイッチの内部接続図

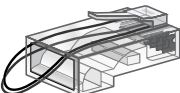


付属品

- 施工説明書（本紙） ●取扱説明書（1枚）
- 取付ねじ×4本 ●施工シール×1枚

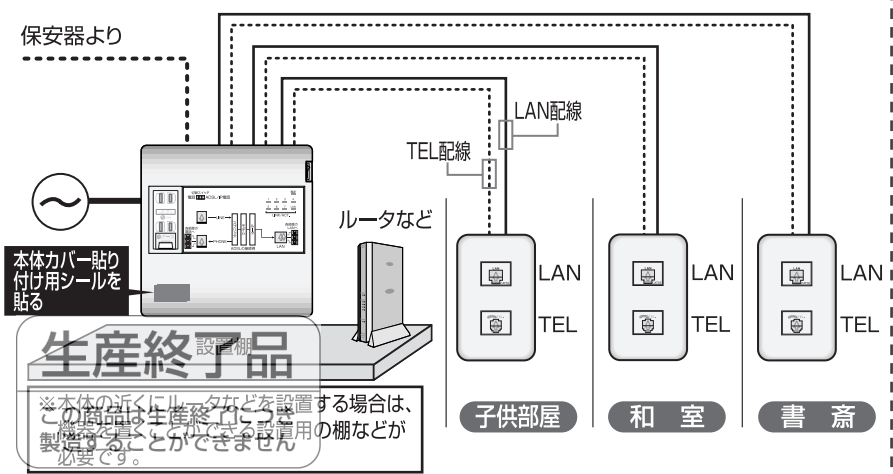


- ループバックコネクタ×1コ
※出荷時は本体カバー裏面に貼り付けています。

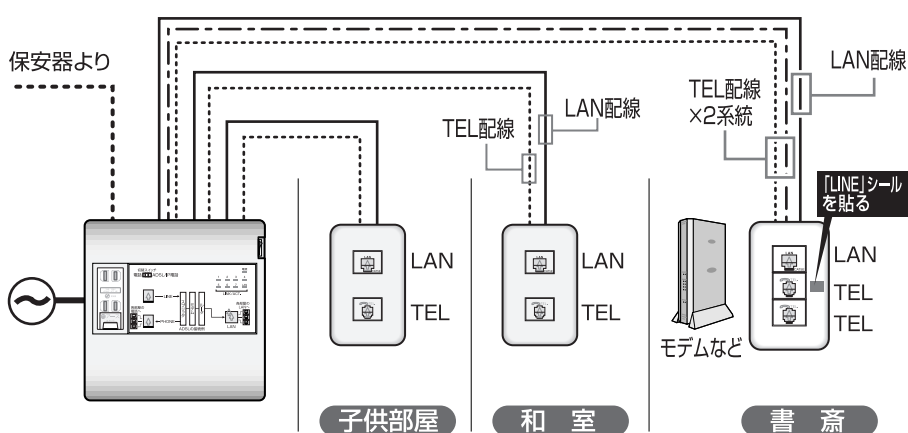


まとめてねットのシステム図

モデム、ルータなどを「まとめてねット」本体に接続する場合



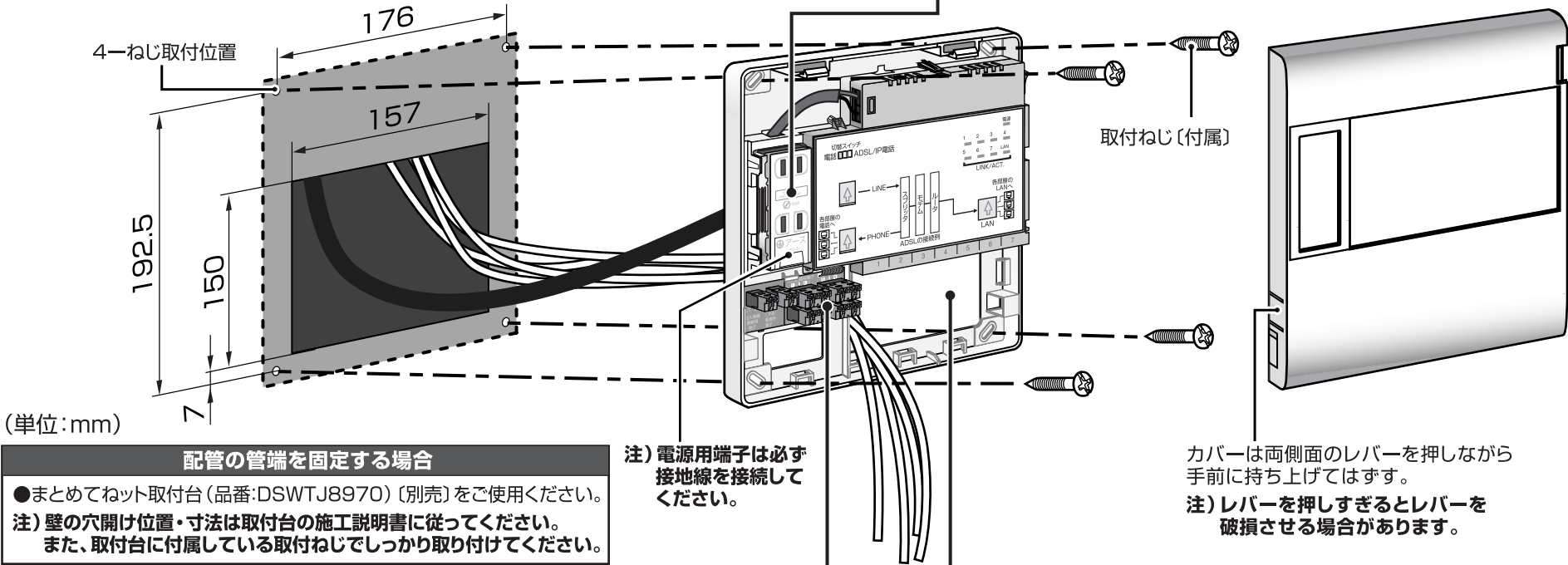
モデム、ルータなどを部屋のコンセントに接続する場合



取付・結線方法

- 注意!**
- ・天井面から15 mm以上、両側面から50 mm以上離して取り付けてください。
 - ・壁面が柔軟な場合、補強材を使用してしっかり取り付けてください。

- 適用電線
φ1.6 φ2 Cu(銅)
単線専用
- 結線方法
12⁺²₋₃ mm
- 奥まで差し込む



配管の管端を固定する場合

- まとめてねット取付台(品番:DSWTJ8970)〔別売〕をご使用ください。
注) 壁の穴開け位置・寸法は取付台の施工説明書に従ってください。
また、取付台に付属している取付ねじでしっかり取り付けてください。

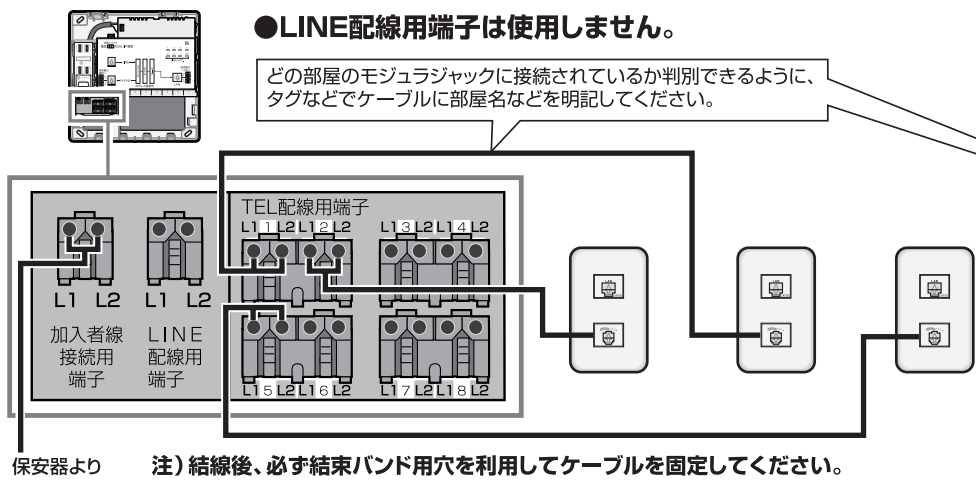
注) 電源用端子は必ず
接地線を接続して
ください。

カバーは両側面のレバーを押しながら
手前に持ち上げてはすす。
注) レバーを押しすぎるとレバーを
破損させる場合があります。

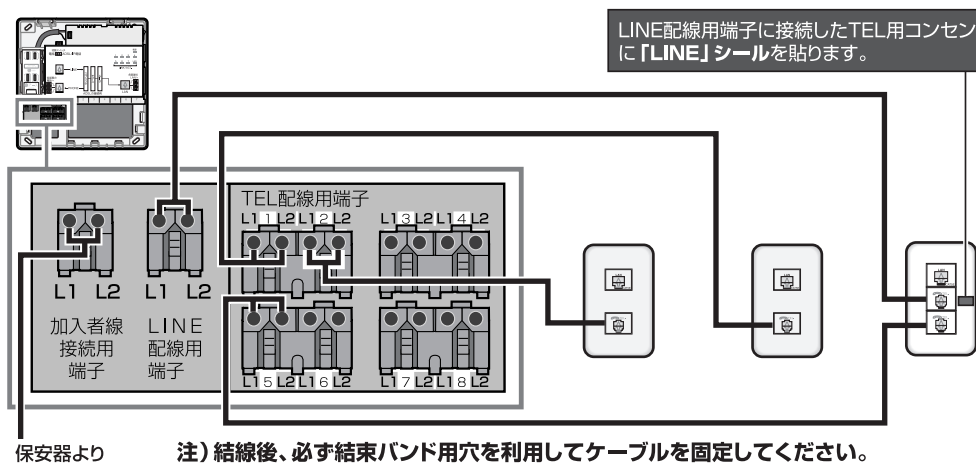
TEL配線

配線図

コンセントがすべてLAN+TELの組み合わせになる場合

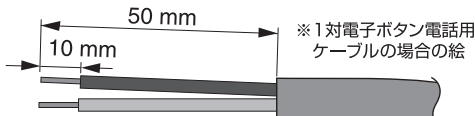


コンセントが1個所LAN+TEL+TELの組み合わせになる場合



- 適用電線 φ0.5~φ0.65 Cu(銅) 単線専用 2対または1対電子ボタン電話用ケーブル

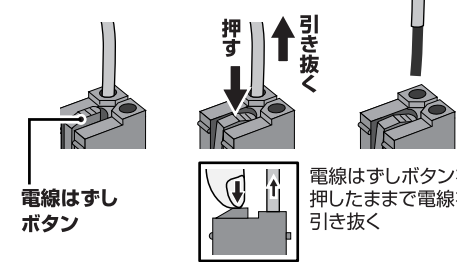
●段むき寸法



●結線方法

心線を一本づつ奥まで
まっすく差し込む

●電線のはずし方



電線はすし
ボタン

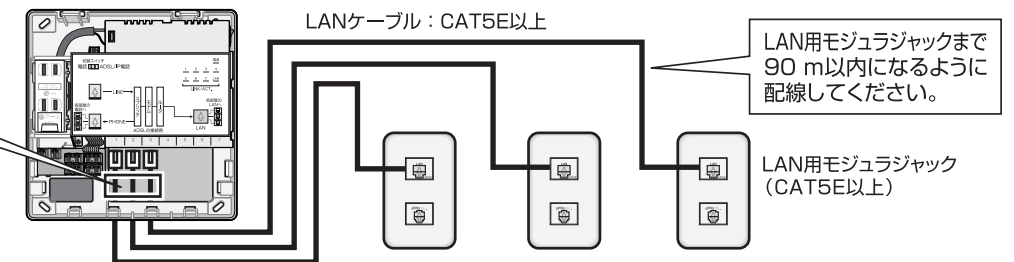
電線はすしボタンを
押したままで電線を
引き抜く

電線はすしボタンを
押したままで電線を
引き抜く

LAN配線

配線図

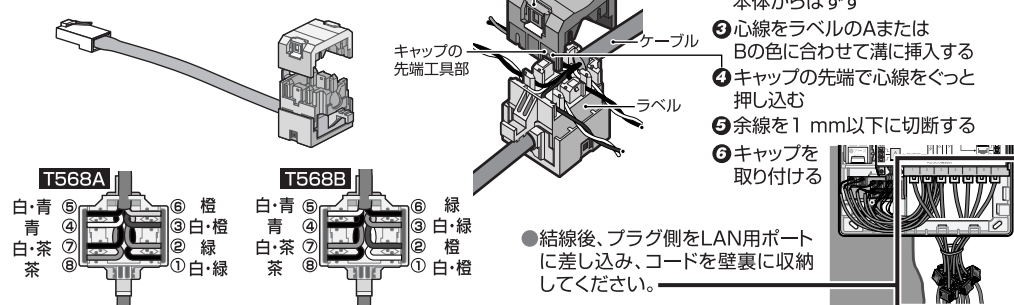
- 7箇所のLAN用ポートから各部屋のLAN用モジュラジャックにLANケーブルでスター配線します。
LANケーブルのプラグ成端には、ぐっとすプラグ(NR3555)〔別売〕、ぐっとすコード(WTJ8901)〔別売〕
あるいは、RJ45モジュラプラグ(NR3550)〔別売〕と専用工具(NR3559)〔別売〕をご使用ください。



注) LAN用ポートに接続したプラグが抜けないように、必ず結束バンド用穴を利用してケーブルを固定してください。

●ぐっとすコードをご使用の場合

- ぐっとすコードWTJ8901(別売)を使用して結線できます。



●RJ45モジュラプラグ(品番:NR3550)をご使用の場合

適用電線: AWG24(φ0.5) 単線

注) 必ず専用の圧着工具NR3559(別売)をご使用ください。

①ケーブルの外被をむく

注意! 心線を傷つけないように
むいてください。

②外被先端を押え、平に整列する

外被を指ではさんで、外被の中の各対を整列させます。

③撚りをもどして整列し、先端をカットする

心線の撚りをもどしながら、表の端子配列規格の色順番どおり
整列させ、先端をカットしてください。

番号	T568A	T568B	プラグのピン番号
1	白・緑	白・橙	1
2	緑	白・緑	2
3	白・橙	白・青	3
4	青	青	4
5	白・青	白・緑	5
6	橙	緑	6
7	白・茶	白・茶	7
8	茶	茶	8

注意! 外被の中まで心線の撚りをもどさないでください。

④心線をロードバーに挿入し、カットする

外被がケーブルジャケットノッチに接触するまで挿入する
5 mm

ケーブルジャケットノッチ

ロードバー

注意! 撚りをロードバーの奥まで挿入すると、変形のおそれがあります。

⑤ロードバーを前方にスライドさせる

1 mm

⑥モジュラプラグに挿入し、圧着する

心線の先端がモジュラプラグの
前面に当たるまで差し込む

定格・仕様

LAN用 モジュラジャック	10BASE-T/100BASE-TX ×8ポート(自動認識)(RJ45モジュラジャック) (全/半二重・オートネゴシエーション)	スイッチング仕様	スイッチング方式: ストア・アンド・フォワード パケット転送能力: ノンブロッキング 148,800pps/ポート(100Mb/s) 14,880pps/ポート(10Mb/s) MACアドレステーブル: 2K	エージング機能: タイマー 約5分 バッファ : 128KB フロー制御 : 半二重時 バックプレッシャー 全二重時 802.3x
LAN・配線最遠長	まとめてねット~コンセント間: LANケーブル(CAT5E以上)90 m LANコンセント~接続機器(パソコン、ルータなど)間: LAN用モジュラコード10 m		IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX 情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) クラスB	
LED表示	電源	伝送方式	AC 100 V 50 Hz/60 Hz	最大8 W
	LINK/ ACT.	適合規制	電 源	外形寸法
カスケード接続	全8ポートともオートMDI/MDI-X機能により、接続相手にあわせて送信と受信 のペアを入れ替える為、ストレートケーブル/クロスケーブルの両方が使用可能	電 源	最大8 W	縦215 mm × 横210 mm × 深さ40 mm
		使用温度範囲	0℃~40℃	

施工後の確認

- 切替スイッチ
施工後は、切替スイッチを「電話」側に
しておいてください。
- LAN配線
宅内LAN施工後には、配線確認が
必要です。
LAN配線チェッカーWTJ7002
〔別売〕などを使用し、短絡、接続
状態の確認を行ってください。